



252号 発行所 / 下関市長府外浦町1番1号 国立病院機構 関門医療センター 発行責任者 / 病院長 吉野 茂文 印刷 / 株式会社アートネクスト

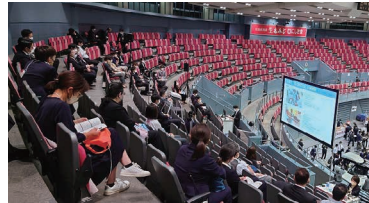
国立病院機構は全国140病院からなる医療ネットワークです。その事業は診療事業、教育事業と臨床研究事業の3つの柱からなっています。臨床研究事業には診療情報の収集分析と情報発信が求められており、情報発信の場として機構が設けているのが国立病院総合医学会です。去る、2023年10月20・21日に第77回国立病院総合医学会が呉医療センター院長 下瀬省二先生を会長、広島西医療センター院長 新甲 靖先生を副会長として広島市で開催されました。多大な影響をあたえたCOVID-19感染禍も完全終息には至っていないもの、落ち着きを見せたということ、4年ぶりにフルバージョンでの開催になりました(対面開催は2022年より再開)。

学会は特別公演・教育講演といった特別企画、シンポジウム、パネルディスカッションといった主題検討、それと一般演題(口演・ポスター口演)からなっており、一般演題は2,100題を超える応募であったとのことでした。参加者は6,000名を超え、リーグアイヤルホテル広島メルパルク広島広島県立総合体育館の3会場に分かれて開催



今回の学会では新型コロナウイルス感染症拡大に伴い見合されていた全員交流会も開催されました。4年ぶりの開催ということもあり、会場のあちらこちらで懇親を深め、大いに盛り上がった様子です。

国立病院総合医学会は、臨床研究や症例検討についての討議はもちろんです。看護、臨床検査、放射線診療、理学療法、栄養などの診療にかかわる多職種の間から、病院管理や診療連携、教育などあらゆる方面の話題について取り上げております。まさに今回の学会のサブタイトルである「日本の医療を支える国立病院機構」といったことを改めて認識するものであったと感じました。

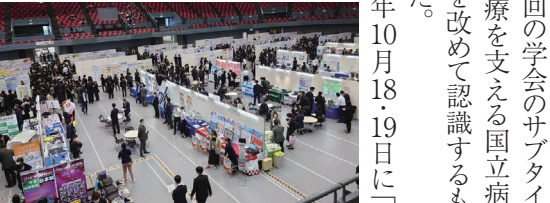


スタンド席やアリーナでの発表会場の様子

今年度の学会では新型コロナウイルス感染症拡大に伴い見合されていた全員交流会も開催されました。4年ぶりの開催ということもあり、会場のあちらこちらで懇親を深め、大いに盛り上がった様子です。

今回の学会では新型コロナウイルス感染症拡大に伴い見合されていた全員交流会も開催されました。4年ぶりの開催ということもあり、会場のあちらこちらで懇親を深め、大いに盛り上がった様子です。

今回の学会では新型コロナウイルス感染症拡大に伴い見合されていた全員交流会も開催されました。4年ぶりの開催ということもあり、会場のあちらこちらで懇親を深め、大いに盛り上がった様子です。



スタンド席やアリーナでの発表会場の様子



今年度の学会では新型コロナウイルス感染症拡大に伴い見合されていた全員交流会も開催されました。4年ぶりの開催ということもあり、会場のあちらこちらで懇親を深め、大いに盛り上がった様子です。

今回の学会では新型コロナウイルス感染症拡大に伴い見合されていた全員交流会も開催されました。4年ぶりの開催ということもあり、会場のあちらこちらで懇親を深め、大いに盛り上がった様子です。



臨床研究部長 戒能 聖治

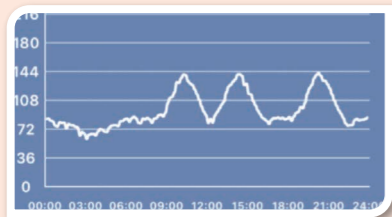
未来へ向かって 日本医療を支える国立病院機構

外来診療担当医一覧表										2023年12月1日
グループ名	診療科名	月	火	水	木	金	特殊外来 ※要予約			
総合診療【G2】	総合診療	午前	佐藤 稷 鶴 政俊	佐藤 稷 鶴 政俊 (再来のみ) 周山 拓也	佐藤 稷 松井久未子	佐藤 稷 鶴 政俊	佐藤 稷 松井久未子 (再来のみ)	人工ペースメーカー外来 リウマチ外来 不妊症外来		
	糖尿病・血液内科	午前						難聴・補聴器外来 ペインクリニック 頭痛外来		
	歯科口腔外科(予約制)	午前	板敷康隆	板敷康隆	板敷康隆	板敷康隆	板敷康隆	スポーツ外来 膝関節外来 健康診断 機能的脳神経外科 手の外科 足の疾患センター 骨軟部腫瘍		
女性総合診療	女性総合診療(予約制)	午後	早野 智子	早野 智子				パーキンソン病 セカンドオピニオン外来		
循環器病総合診療【G2】	循環器内科	午前(新来) 午後(再)	大谷 望 早野 智子	早野 智子 大谷 望	早野 智子 大谷 望	大谷 望 早野 智子	大谷 望 早野 智子			
	呼吸器内科	午前 午後		神田英樹(非)	頼原 隆(非)	生嶋一成(非)	鳥井 亮(非)			
	脳神経内科(午後外来は予約制)	午前(再) 午後(再)	押部奈美子 尾本雅俊 天野美和(非) 田中信一郎 尾本雅俊	尾本雅俊	田中信一郎		田中信一郎 池川 眞之 尾本雅俊			
	脳神経外科	午前	副島慶輝	山下勝弘		山下勝弘	副島慶輝			
	機能的脳神経外科(毎月最終水曜日(予約制))	午前			藤岡裕士(非)					
	消化器内科	午前	原野 恵 千原 大典	坂口 栄樹 戒能 聖治	戒能 聖治 小川 亮	千原 大典 坂口 栄樹	小川 亮 原野 恵			
がん消化器・肝臓病総合診療【G5】	精神科(予約制)【G5】	午前	若林 祐介	若林 祐介	若林 祐介	若林 祐介	若林 祐介			
	心理カウンセリング(予約制)		白井 麻子 黒木 浩子	白井 麻子 黒木 浩子	白井 麻子 黒木 浩子	白井 麻子 黒木 浩子	白井 麻子 黒木 浩子			
	乳腺外科	午前	長島由紀子	長島由紀子	長島由紀子	長島由紀子	長島由紀子			
	外科	午前(新来)	吉野 茂文	矢原 昇	坂本和彦	吉野 茂文	吉田 晋			
	消化器外科	午前(再)	坂本和彦 佐伯晋吾	北原正博	吉田 晋	北原正博 酒井豊	林 弘人 矢原 昇			
	呼吸器外科	午前								
	内視鏡外科	午前								
	心血管外科	午前								
	足の疾患センター(予約制)	午後								
	肝臓内科	午前		坂口 栄樹			坂口 栄樹			
腫瘍内科【Q2】	午前									
放射線治療科【H2】	午前	河村 光俊 利信	河村 光俊 利信 (再診のみ)	河村 光俊 利信	河村 光俊 利信	河村 光俊 利信	河村 光俊 利信			
	午後	河村 光俊 利信	河村 光俊 利信 (再診のみ)	河村 光俊 利信	河村 光俊 利信	河村 光俊 利信	河村 光俊 利信			
麻酔科・ペインクリニック	午前(11時以降予約のみ)	内本 亮吾 田和 聖子	内本 亮吾 藤田文彦 北 仁志	田和 聖子 藤田文彦	内本 亮吾 藤田文彦	内本 亮吾 藤田文彦	内本 亮吾 藤田文彦			
	午後		北 仁志 (術前診察)		北 仁志 (術前診察)					
長寿医療総合診療【G1】	整形外科	午前	伊原公一郎 篠原道雄 米原孝則	峯 孝友 坪根 徹	栗山龍太郎 篠原道雄	伊原公一郎 坪根 徹	峯 孝友 栗山龍太郎 米原孝則			
	リウマチ科	午前		峯 孝友			峯 孝友			
	泌尿器科	午前(新来) 午後(再)	鄭 泰秀 篠原陽太 (10時から)	篠原陽太 鄭 泰秀 (10時から)	鄭 泰秀 篠原陽太 (10時から)	鄭 泰秀 篠原陽太 (10時から)	篠原陽太 鄭 泰秀 (10時から)			
	眼科(予約制)	午前	播磨 希	播磨 希	播磨 希 (再来のみ)	播磨 希	播磨 希			
	耳鼻いんこう科	午前 午後	村上直子	田原晋作 (10時以降予約のみ)		田原晋作 (10時以降予約のみ)	村上直子 田原晋作 (10時以降予約のみ)			
リハビリテーション科	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医				
透析センター	透析センター	午前	鄭 泰秀 牧 隆司	鄭 泰秀 牧 隆司	鄭 泰秀 牧 隆司	鄭 泰秀 牧 隆司	鄭 泰秀 牧 隆司			
	小児科	午前	牧 隆司	牧 隆司	牧 隆司	牧 隆司	牧 隆司			
	皮膚科(予約制)	午前	下村尚子(非)				下村尚子(非)			
	形成外科	午前		高須啓之(非)						
	産婦人科	午前	林 公一	林 公一	齋藤剛(非)	林 公一	林 公一			
救命救急センター	救命救急センター-ER24	24時間	松本泰幸 担当医	松本泰幸 担当医	松本泰幸 担当医	松本泰幸 担当医	松本泰幸 担当医			
	生活習慣病センター	午前	松本裕美 山元修(非)	松本裕美	松本裕美	松本裕美 櫻木友美子(非)	松本裕美			

赤字は今月の変更分です。

〒752-8510 下関市長府外浦町1番1号
 国立病院機構 関門医療センター
 診療受付時間：午前8:30～11:30
 午後(各診療科外来にお問い合わせください)
 ※休診日：土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始(12/29～1/3)

★代表 TEL(083)241-1199
 FAX(083)241-1301
 ★地域医療連携室(医療関係者専用) TEL(083)241-1191(2561)
 FAX(083)241-1302
 ★透析センター FAX(083)241-1308
 https://kanmon.hosp.go.jp/



400〜500 mg/dL・吐き気、嘔吐、意識がかなり昏睡状態に陥る。ここまで放置していると合併症が発病している可能性大です。

では、血糖値は低ければ良いのでしょうか。今回は高血糖、低血糖の症状を記載しました。これらの症状に心当たりのある方は、一度病院で検査をおすすめします。

【高血糖】空腹時血糖が200 mg/dLを超えると糖尿病と診断されますがほとんど無症状のことが多く放置され、気づかなくなまま進行していきます。

【糖尿病の検査】は大きく分けると診断のための検査、コントロール状態を評価するための検査、合併症を見いだすための検査になります。今回は「血糖」についてお話します。検査などで血糖を検査したことがあると思います。血糖値は、日の中に70〜140 mg/dLくらいの幅で変化します。正常な人は食事をして140 mg/dLを超えない仕組みになっています。

外来受診すると検尿、採血があり、診察時にはその日のデータを説明されると思います。検査技師は検査データを迅速かつ正確に提供しています。

糖尿病ミニ教室

NO.8



臨床検査技師 (糖尿病療養指導士) 中村 徹

うか？

【低血糖】は「ひふへほ」血糖値が70 mg/dL未満になると「低血糖」と言われます。これは血液中のブドウ糖の濃度が低くなった状態です。

人により差がありますが、数値で表すと、次のようになります。

- 70〜50 mg/dL：生あくび、ふらつき、めまい、いらいら、強い空腹感など
- 50〜30 mg/dL：手足のふるえ、冷や汗、動悸など
- 30 mg/dL以下：立ってられない、意識がもうろうとするなど

そこで必要となるのが、ジュースやお菓子と言った糖分の補給です。糖尿病の人がなりやすい症状で、状態によっては命に危険が及ぶ可能性があることから、日本糖尿病協会は症状をわかりやすく「ひふへほ」で表現し注意喚起しています。

- 「は」はらが減り
- 「ひ」ひや汗
- 「ふ」ふるえは低血糖
- 「へ」へんにドキドキ
- 「ほ」ほうち(放置)は昏睡

ベストポスター賞受賞

この度、第77回国立病院総合医学会で「フットチェックにおけるレーザ血流計の有用性評価」を発表し、ベストポスター賞を受賞いたしました。



臨床工学技士 藤野 唯依加



現在は、毎月看護師と測定を行っており、これからも患者さんの足を守るお手伝いができたらと考えています。

近年、透析患者さんにおいての下肢虚血性疾患を罹患する患者さんが増えてきており、足病変は発見が遅れると、重症化することも多く、最悪の場合には足を失ってしまうこともあります。足のトラブルはフットチェック(足や爪の状態確認)の介入により、予防することができるとされており、当センターでは、全透析患者さんに対し、毎月看護師が行うフットチェックと半年に1回臨床検査技師によるABI測定(数値的評価)を実施することで、足病変の早期発見と病態進行の把握に努めてきました。しかし、毎月数値的評価を行うことで、より早期発見と病態進行の把握ができるのではないかと考え、私たち臨床工学技士にて測定できるレーザ血流計の有用性評価を行いました。

HIV/AIDS感染予防事業

令和5年度「HIV/AIDS感染予防事業」として「世界エイズデー」のキャンペーンと外来講師を招聘しての講演会を開催しました。

今年の「世界エイズデー」のキャンペーンテーマは「あなたが変わればエイズのイメージが変わる。UPD A T E HIV!」で、例年通り令和5年12月1日に病院外壁にてプロジェクトマッピングによるHIV/AIDS感染予防啓発キャンペーンを執行行いました。

講演会では、令和5年11月13日に防衛医科大学校産科婦人科学講座教授の高野政志先生を招聘し「最近話題の性感染症〜HIV/AIDSも含めて」の演題でご講演頂きました。内容としては、HIV/AIDSに関する



★6月1〜7日 「HIV/AIDS検査普及週間」
★12月1日 「世界エイズデー」



産婦人科医長 林 公一

する最新知見に加えて、最近、流行して問題となっている「梅毒・サル痘」も含め幅広く性感染症についてご講演いただきました。

HIV/AIDSに関しては、ここ数年減少傾向が認められていますが、コロナ感染症が「段落し」人の動きが再び活発になることに加えて、海外からもover tourismが問題になるほど inbound観光客が増加しており、HIV/AIDSも含め性感染症の増加が懸念されます。是非、気をつけたいものです。

「よしみず病院の研修を終えて」



研修医 二宮 彩橘

9月25日から10月20日にかけて、よしみず病院にて地域医療研修をさせていただきました。よしみず病院は、令和3年に旧国立病院跡地に移転されました。特定医療法人 茜会により運営されており、390床の病床と60名定員の介護医療院が併設されています。今回の研修では、よしみず病院での研修に加えて、茜会が運営している吉水内科をはじめとする様々な介護施設、訪問看護ステーション、訪問ヘルパーステーションも見学させていただきました。

よしみず病院には脳神経筋センターが設置されており、脳神経内科の患者さんが多く入院されていました。カンファレンスや回診、検査に立ち会わせていただきましたが、普段多く扱う脳卒中の患者さんの診察ではなく、パーキンソン病をはじめとする変性疾患の精査目的の入院患者さんを多く診察させていただきました。

吉水内科やその関連施設の見学では、普段の当直の際に関門医療センターに紹介・救急搬送される患者さんが、日頃どのように生活しているのか、訪問診療医の先生にどのような診察を受けているのか見学させていただきました。1ヶ月という短い期間ではありますが、下関の慢性期医療について学ばせていただきました。今後の診療に活かしていきたいです。



Q 出身地は？
山口県宇部市の出身です。祖母の生家が下関にあり、幼少期より宇部市・下関市で過ごしていました。

Q 今行きたいところは？
海が好きなので行きたいのは海ですが、人里離れた何もない海が良いなと思っています。仕事柄常に何かを考えて生きていますが、時には心を無にして、全てをリセットする時間も必要なのかなと思います。

Q おすすめの場所は？
天草諸島です。こちらも祖父の生家がある場所なのですが、静かな漁村でゆっくりとした時間が流れています。思い出の場所という事もありますが、自分を見つめ直すのにとっても良い場所だと思います。

Q 今の診療科を選んだ理由？
学生時代は循環器内科のカテーテル治療や形成外科に憧れていました。限られた人しかできない手技を行う医師を見て、こうありたいと学生時代に思っていました。しかし、研修医になった際、当時の上級医の先生をはじめ、諸先輩方に大変お世話になり、また手技を丁寧に指導して頂き内視鏡の面白さに目覚めたからです。

Q 今夢中なものは？
内視鏡治療です。内視鏡自体が好きという事もありますが、自分にかかると良かったと患者さんに思ってもらえるには技術的に非常に優れている必要があります(もちろん技術だけではなく、一見不可能とも思われる症例でも可能性がゼロでなければ治療をする価値がありますし、それで良い結果が得られた時がもっともこの仕事のやりがいを感じる場面かと思っています。

これは内視鏡検査のフリをする過去の自分です。
おがわ 亮
診療科：消化器内科

寄付の御礼

令和5年10月に市内の個人様より匿名で式拾八万円、11月に市内の開業医の先生より匿名で壱拾萬円の寄付を賜りました。地域の皆様からの継続的なご支援に、深く感謝しております。今後とも地域医療に貢献できるよう尽力してまいります。